

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	Zoom で授業や会議を行う初心者のための実践講座	6 時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校および養護教諭向け *PC 初心者向け	
講習日	2021年8月19日（木）	講師 槇 誠司
到達目標	Zoom を使用してオンライン授業や会議を行うことができる。	
講習概要	<p>新型コロナウイルス感染症の増加に伴い、臨時休業等が行われるなど、児童生徒等がやむを得ず登校できない場合においても、児童生徒の学びを保障するために、教員による対面指導と遠隔・オンライン教育との組み合わせによる新しい教育様式の実践が求められています。</p> <p>本講習では、PC 初心者を対象にオンライン授業や会議などを実施する際に使われている遠隔会議システム Zoom の基本操作について研修します。</p> <p>■事前準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PC を持参する場合は、あらかじめ Zoom をインストールしてください。 2. PC を持参しない場合は、本学の PC を使用します。 <p>■研修計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Zoom とは何かについて学びます。 2. Zoom の基本的な操作方法について実践します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) Zoom のマイクとスピーカ、カメラの操作方法。 (2) Zoom を操作して会議に入室する方法。 3. Zoom を使ってオンライン会議の進行方法について実践します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) オンライン会議では、議長役と教員役に分かれて、議長が会議資料を「チャット」機能を使って配布したり、教員が会議資料を「画面共有」機能を使って発表したりする方法。 (2) 議長役は、教員を「ブレイクルーム」機能を使って、各校務分掌に分けて協議する方法。 4. Zoom を使ってオンライン授業について演習します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 演習では、先生役と生徒役に分かれて、先生が「チャット」機能を使って生徒の出席をとります。 (2) 先生役は、オンライン会議と同様の機能を使って、生徒がグループ討論したり、発表したりできるように Zoom を操作します。 	
試験の方法	講義中に課す演習（筆記試験は実施しない）	
評価方法	講義中に課す演習および実習への取組み状況により総合的に評価します。	
テキスト 参考書	講義資料は、当日配布します。	
その他	PC を持参しない場合は、本学の PC を使用しますので、あらかじめ連絡してください。	

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	小・中・高向けプログラミング教育 ～ビジュアルプログラミング言語 Scratch を用いた論理的・創造的 的思考力の教育～		6時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭 ※パソコンの操作ができること		
講習日	2021年8月19日（木）	講師	マッキン・ケネスジ ェームス、朴 鍾杰
到達目標	① プログラミング教育と論理的・創造的思考力の関係の理解 ② Scratch 言語の利用方法の習得 ③ 各教育段階に合わせたプログラミングの利用方法の理解 ④ アルゴリズムの基礎的考えを理解する。		
講習概要	<p>プログラミング教育は小・中・高それぞれの段階に合わせた論理的・創造的 思考力を育てるのに適しています。本講座では、教育向けビジュアルプログ ラミング言語 Scratch を用いて、具体的な課題の事例を示しながら、小・ 中・高の ICT 教育の一環としてプログラミング教育を取り入れる方法を体 験します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の目的・概要 ・ Scratch の説明 (Standalone vs Web, インストール, 学外接続) ・ Scratch の操作 ・ 小学校向けアニメーション課題 ・ 中学校向け数学課題 ・ 高校向けプログラミング課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムの全体設計 ・ 各処理の詳細設計 ・ プログラムの実装 ・ 動作確認 ・ デバッグ ・ まとめ ・ 筆記試験、アンケート 		
試験の方法	筆記試験		
評価方法	プログラム課題および筆記試験により総合的に評価する		
テキスト 参考書	講義資料は印刷し配布する		
その他			

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	教員のためのExcel活用術	6時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校および養護教諭向け ※パソコンの操作およびExcelの操作（入門程度）ができること	
講習日	2021年8月19日（木）	講師 藤原 丈史
到達目標	生徒の成績評価業務で発生するデータについて、Excelを使って統計的に処理する知識と技術を習得する。 問題解決のために実施するアンケート調査データについて、Excelを使って統計的に処理する知識と技術を習得する。	
講習概要	<ol style="list-style-type: none"> 1) 統計関数を利用したデータの要約 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心化傾向代表値（平均値と中央値） ・ ばらつきの指標（分散と標準偏差） ・ データの標準化と偏差値 ・ 度数分布表 2) グラフ機能を利用したデータの視覚化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒストグラム 3) クロス集計 4) 相関分析による関係の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ 散布図 ・ 相関係数 5) 回帰分析による成績の予測 6) アンケート調査の基礎知識 7) アンケートデータの集計 	
試験の方法	講義中に課す演習問題 (筆記試験は実施しない)	
評価方法	講義中に課す演習問題の遂行状況と授業への取組み状況	
テキスト 参考書	資料を配布する	
その他		

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	教育現場のセキュリティ～事例と対策～	6時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭	
講習日	2021年8月19日（木）	講師 岸本 頼紀 河野 義広
到達目標	<p>① 学校教育現場におけるセキュリティ事故の事例について学び、どのような問題が生じる可能性があるかを知る</p> <p>② セキュリティ事故の予防や発生時の対応方法の基礎を習得し、自身だけでなく児童・生徒に対する指導や助言ができるようになる</p>	
講習概要	<p>学校教育の現場における情報漏洩やサイバー犯罪の事例とその予防方法について学びます。特に教育現場では、遠隔授業やオンラインでの自宅学習、生徒の SNS の利用など、一般企業のようなセキュリティ対策が難しい現状にあります。このような教育現場におけるセキュリティ事例とその対策について重点的に学びます。</p> <p>① 教育現場のセキュリティ事件 情報漏洩やサイバー攻撃被害といった教育現場におけるセキュリティ事件の事例について学びます。</p> <p>② サイバー犯罪の手口 サイバー犯罪について、昨今の流行と被害、その手口について学びます。</p> <p>③ セキュリティ事件とその対策 セキュリティ事件の事例について、その原因と対策方法について学びます。</p> <p>④ 予防方法と被害を受けたときの対応 セキュリティ事件の原因から、それを予防する方法について学びます。さらに、被害にあったときにどのような対処をすればよいかについて学びます。</p> <p>特に最近の事例として、遠隔授業のセキュリティ事例、SNS 炎上、授業コンテンツサーバへの攻撃、授業用タブレットのトラブル事例などについて解説します。</p>	
試験の方法	最終時限に到達目標の到達度及び講義の理解度を問う記述式の試験を行う。	
評価方法	試験結果、授業への取り組み姿勢、課題作成・成果発表により総合的に評価します。	
テキスト 参考書	講義資料は印刷し配布します。	
その他		

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	ソーシャルメディアリテラシー教育	6 時間
受講対象者	中学校・高等学校・特別支援学校教諭 ※パソコンの操作に慣れていること（最低限タッチタイピングができる程度）、インターネットの基礎知識があること（各種アカウント登録、Web サービスの利用ができる） ※事前に以下の IT スキル調査アンケートに回答すること https://bit.ly/2SdCnc2	
講習日	2021年8月20日（金）	講師 河野 義広
到達目標	① ソーシャルメディアの基本的な知識や留意点、活用方法を理解し、中高生に対する情報リテラシー教育に活用できること ② ソーシャルメディアの特徴を理解し、情報収集・情報発信・人脈作りなど、各自の目的に応じた使い方を考えられること	
講習概要	① ガイダンスとソーシャルメディアの概要 今後の情報教育の在り方について解説します。情報活用能力を軸に、ソーシャルメディアの概要を説明しながら、演習を通して基本機能や使い方を学習します。適宜事例も紹介します。 ② ソーシャルメディアリテラシーと情報発信 ソーシャルメディアのリテラシーを学習し、適切な情報公開、情報発信について議論します。中高生に対する情報リテラシー教育に活用できるようにします。 ③ ソーシャルメディアの活用方法とパーソナルブランディング ソーシャルメディアの活用方法を学習し、情報収集・情報発信・人脈作りなど、各自の目的に応じた使い方を議論します。特にパーソナルブランディングの考え方を理解し、これからの時代を支える中高生が積極的に社会とのつながりを持つための教育方法に活用できるようにします。 ④ 中高生に対する情報教育 中高生に対する情報教育について、現在の各校の指導状況を踏まえつつ、これからの指導方法について議論します。 ⑤ 課題作成及び成果発表 本講習を受講し、考えたことや生徒の指導に活動できそうな点についてレポートを作成した上で、発表と質疑応答を行います。 ※情報教育に対するアンケートを実施する予定です。ご協力ください。	
試験の方法	最終時限に到達目標の到達度及び講義の理解度を問う記述式の試験を行います。	
評価方法	試験結果、授業への取り組み姿勢、課題作成・成果発表により総合的に評価します。	
テキスト参考書	・参考書（購入は必須ではありません） 「ソーシャルメディア実践の書 facebook・Twitter によるパーソナルブランディング」 著者：大元隆志 発行：リックテレコム ISBN：978-4-89797-871-0	
その他	・事前に Google のアカウントを作成しておいてください。 ※学内のネットワークでは、同時に多数のアカウント作成ができません。 ・下記資料を事前にご覧いただくと講義内容を理解しやすいと思います。 https://www.slideshare.net/YoshihiroKawano/social-medialiteracy-20180821	

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	地理情報システムを用いた教材開発と地図作り	6 時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭向け ※パソコンの操作ができること	
講習日	2021年8月20日（金）	講師 富田 瑞樹
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地理情報システムの基礎概念について理解するとともに、地理情報システムの操作方法を習得する 2. 地理情報システムの基礎概念と操作方法を教材開発や地図づくりに応用できる 	
講習概要	<p>本講習は、地理情報システムの基礎概念を理解するための講義と、その操作方法を習得するための実習から構成される。講習で学んだ内容を教材開発や地図作りに応用するために必要な情報についても紹介する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理情報システムの基礎概念 レイヤー構造・ベクターとラスター・属性データ・デスクトップ GIS とウェブ GIS 2. 地理情報システムの基礎的操作方法 ウェブ上で利用できる地理情報システムに既存のレイヤーを用いた教材作成と地図表現 3. 地理情報システムの応用的操作方法 ウェブ上で利用できる地理情報システムに既存のレイヤーに、独自のレイヤーを追加することによる、オリジナル教材作成と地図表現 4. 地理情報システムを用いた教材作成と地図作り 総合演習：各自の授業内容や地域に応じたオリジナル教材や地図の作成 	
試験の方法	講習時の課題を印刷して提出する。	
評価方法	授業への取り組み姿勢および授業中に作成する課題から総合的に評価する。	
テキスト 参考書	講義時間中に適宜、紹介するとともに、印刷資料を配布する。	
その他		

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	グループワークの理論と実際	6 時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校および養護教諭向け	
講習日	2021年8月20日（金）	講師 田邊 昭雄
到達目標	<p>「主体的・対話的で深い学び」や「アクティブラーニング」が強調され、ファシリテーターとしての教員の在り方が現在の教育活動の中で問われています。カウンセリングや心理教育を学び、個人への対応だけでなく集団に対する心理教育の理論と実践について習熟すること、そしてそれを各自の教育実践に具体的に活かすことを目標とします。</p>	
講習概要	<p>カウンセリングを学ぶことは、児童生徒のいじめや不登校への対応だけでなく、子どもたちとのかかわる毎日の学校生活における教育活動において大きな支えとなります。また、保護者や同僚、地域の人たちとの良好な関係性を築く基本にもなるものです。そこで本講習では、いわゆるカウンセリングマインドを持った教育実践の推進を目指し、特にグループへのアプローチが今よりも上達することを目標に具体的な演習をとおして学びます。</p> <p>午前（3時間）はグループワークの3段階について、実際に数種類の演習を行いながら理解を深めます。グループワークはただ行えば良いわけではありません。段階を追ってグループを熟成させていくことが重要で、この段階を追うという作業が行われないとグループの効果は得られません。また、グループ活動の効果を上げるためにも、自分自身への気づきが重要になります。そこで「気づきのトレーニング」などの自己への気づきを促進するための演習を交えて自己理解を深めます。</p> <p>午後（3時間）は学校心理学をベースにした台湾の3ランク予防体制と日本における学校教育相談体制を比較検討した上で、いわゆる予防・開発的教育相談への理解を深めます。同時に午前のグループワークの体験を振り返り、アクティブラーニングなどのかかわりにも触れながら、児童生徒に援用するための工夫を検討します。</p>	
試験の方法	講義の終わりに、到達目標の到達度および講義の理解度を問う記述式の試験を行う予定です。	
評価方法	試験の成績により評価します。	
テキスト 参考書	<p>・『やさしくナビゲート！ 不登校への標準対応 -どこの学校でもできる上手な不登校対応』 テキストは当日配布する予定です。</p> <p>・『学級経営力を高める 教育相談の技⑬』 学事出版（参考書）</p>	
その他	簡単なアンケートをさせていただくことを予定しております。ご協力をお願いいたします。	

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	特別支援における ICT 教育	6 時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校および養護教諭向け *PC 初心者向け	
講習日	2021年8月25日（水）	講師 後藤 広太郎
到達目標	①ICT 教育について、定義・内容のみならず活用方法も理解する。 ②「脳機能」についての理解を深め、効果的な ICT 教育を検討する。	
講習概要	<p>午前（3時間）は、特別支援を必要とする子どもたちの特性を脳科学の領域から解説し、職場での経験についてグループ交流を通してシェアしてもらう。また、実際に脳機能計測装置を用いて「体験」してもらう。</p> <p>午後（3時間）は、ICT 教育について解説を行い、実際に PC（一部タブレット）を用いて体験してもらう（パワーポイント使用）。そして、児童生徒に援用するための工夫を検討する（グループ・ディスカッション）。</p>	
試験の方法	講義の終わりに、到達目標の到達度および講義の理解度を問う記述式の試験を行う。	
評価方法	試験の成績により評価する。	
テキスト 参考書	・当日、参考資料を配布する	
その他	簡単なアンケートをさせていただくことを予定しております。ご協力をお願いいたします。	

東京情報大学 教員免許状更新講習 講習内容（シラバス）・選択領域

講習名	3次元CGと教育への応用	6時間
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭 ※パソコンの操作ができること	
講習日	2021年8月25日（水）	講師 松下 孝太郎
到達目標	CGの基礎理論およびCGを用いた教材について理解します。 さらに、CGの作成技術を習得します。	
講習概要	<p>①CG理論とその教育への応用 CGの基礎理論を学習します。また、CGを使用した教材を概観します。</p> <p>②基礎演習 講師とともに基本的なCGを作成します。</p> <p>③課題演習 各自でテーマを設定し、CGを作成します。</p> <p>④課題演習及び発表 CGを完成させます。さらに、作成したCGを講師と受講者に対し発表します。他の受講者のCGを見ることにより今後のCG作成の参考にします。</p>	
試験の方法	授業中に製作する課題を評価します。 (筆記試験は行いません。)	
評価方法	授業への取り組み姿勢及び授業中に作成する課題により総合的に評価します。	
テキスト 参考書	<p>・参考書（購入は必須ではありません） 「教養の情報科学－短期で学べる理論と実践－」 著者：松下孝太郎 他 発行：北大路書房 ISBN4-7628-2519-0 ※第11章のみ使用。 テキストは当日に配布いたします。</p>	
その他		